

もう一つの 世界は 可能だ！



2009年1月「世界社会フォーラム」ベレン(ブラジル)にて WSF2009 in TOKYOより

ラテン・アメリカ 「格差と貧困」 その脱出への道

世界は、
変わることに
なっている

「格差と貧困」が深刻化する日本。

アメリカ発の金融危機による不況から、派遣切りが当然のものとして行われ、住まいをおわれた人々がその日の生活にも窮している。

未来が見えない日本に比べ、新しい価値観で輝きをます国々がある。それが中南米の国々だ。

金融危機といわれるなか、今年1月に開催された「世界社会フォーラム」で注目されたのは、「反グローバリズム」「脱アメリカ」で混迷を抜け出している中南米の国々だった。

1999年、国民が主人公の参加型民主主義のもとで社会革命を掲げたチャベス大統領 (ベネズエラ)

軍隊をもたない国で有名 (コスタリカ)

米国の経済封鎖のもとでも貧困・医療・エコロジーで世界に先駆ける (キューバ)



2009年、国民投票で軍隊をもたない平和憲法を選んだ国 (ボリビア)

最低年金制度を確立。2009年高齢年金は11%アップ。新たに600万人が恩恵 (アルゼンチン)

『平和・人権・民主主義を考える』西濃憲法集会2009

5月3日 憲法記念日 入場無料 開場 午後1時30分

午後2時~4時30分 ソフトピアジャパン1F (セミナーホール)

記念講演 **もう一つの世界は可能だ**

—「世界社会フォーラム」から見えてくる新しい世界—

講師：大屋定晴氏 (大学講師：社会運動論・社会思想・経済思想専攻)